トンネルライブラリー 第23号

セグメントの設計【改訂版】

~許容応力度設計法から限界状態設計法まで~

目 次

第 I 編 許容応力度設計法

1. 序 論	
1.1 はじめに	
1.2 設計の基本と適用の範囲	
1.3 関連基準類 ·····	
1.4 覆工構造の選定 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
1.4.1 一次覆工の機能と種類	
1.4.2 二次覆工の機能と種類	
1.4.3 セグメントの選定	
1.5 構造計算の基本	
1.6 名称および記号	
1.6.1 名 称	
1.6.2 記 号	
1.7 設計図書	
1.7.1 設計計算書	
1.7.2 設計図	17
2. 荷 重	
2.1 土圧および水圧の考え方 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
2.1.1 土 圧	
2.1.2 水 圧	
2.1.3 トンネルの安定	
2.2 覆工の自重	
2.3 上載荷重の影響	
2.3.1 上載荷重の影響の評価の例	
2.3.2 弾性理論にもとづく地中応力の算定法	26
2.4 地盤反力 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
2.4.1 慣用計算法における考え方 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
2.4.2 地盤ばねモデルによる計算法における考え方	
2.5 施工時荷重 ·····	
2.5.1 ジャッキ推力	
2.5.2 裏込め注入圧	
2.5.3 その他の施工時荷重	
2.6 地震の影響 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
2.6.1 トンネルおよびトンネル周辺地盤の安定性の検討	
2.6.2 地震の影響の検討手順とモデル ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
2.7 その他の配慮すべき荷重	
2.7.1 近接施工の影響	33

4	2. 7.	2 地盤沈下の影響	34
4	2. 7.	3 併設トンネルの影響	34
4	2. 7.	4 内部荷重	36
4	2. 7.	5 その他の荷重	37
3. 7	材料	および許容応力度 ······	38
3.		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
3. 2		マー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
3. 3		対料のヤング係数およびポアソン比 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
3. 4		<u> </u>	
3. §		許容応力度の割増し ······	
•	- н		10
4	セグ	`メントの形状と継手構造 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	47
		セグメント外径とトンネル内径 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
		セグメント高さ(厚さ)	
		セグメント幅 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
		E ファント明 セグメントリングの分割およびKセグメント ····································	
		1 セグメントリングの分割 ·············· 1	
		1 ピクテントリンクの分割 ····································	
		2 Kセクメントの種類 継手構造	
4. 3) 利	· ************************************	53
	kHabber		
		方向の構造計算 既 説	
5.		/ -	
5. 2		新面諸量の算定	
	5. 2.	- 1 · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
	5. 2.		
	5. 2.	- 18361 1874	
		貫用計算法および修正慣用計算法 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
	5. 3.	- 1/3/7/ IE/ 1/4/ 0/ 0/-0/4	
		2 設計用断面力	
5. 4	1 17	まりーばねモデルによる計算法	
į	5. 4.		
į	5. 4.		
į	5. 4.	3 各基準類におけるはりーばねモデルによる計算法	73
6. }	縦断	方向の構造計算	
6.			
6. 2	2 棹	構造解析モデル ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
(6. 2.	1 縦断方向はり一ばねモデル ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	76
(5. 2.	2 縦断方向の等価剛性はりモデル ·······	77
(6. 2.	3 地盤などのモデル化 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	80
(5. 2.	4 縦断方向の解析モデルの例	81
7. 7	部材	·の設計 ·····	83
7.	1 基	基本的事項	83
7. 2	2 銀	鉄鋼製セグメント ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	83
,	7. 2.	1 主断面の設計	83
,	7. 2.	2 セグメント継手の設計	85

7.2.3 リング継手の設計	. 88
7.2.4 ジャッキ推力に対する設計	. 89
7.2.5 スキンプレートの設計	. 90
7.3 コンクリート系セグメント ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	. 93
7.3.1 主断面の設計 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
7.3.3 リング継手の設計	
7.3.4 ジャッキ推力に対する検討	
8. セグメントの耐久性	101
8.1 耐久性に関する基本的な考え方	
8.2 止水性	
8.2.1 漏水とその影響	
8.2.2 止水対策の概要	
8.2.3 継手部の止水	
8.3 ひび割れの検討 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
8.4 防食および防せい	
8.4.1 鉄鋼製および合成セグメント	
8.4.2 コンクリート系セグメント	
0.4.2 コンノ ケード	100
第Ⅱ編 限界状態設計法	
1. 序 論	111
1.1 はじめに	111
1.2 設計にあたって設定する限界状態	113
1.3 設計耐用期間 ·····	114
1.4 応答値および限界値の算定	114
1.5 安全係数および修正係数	
1.6 記 号	
2. 安全係数	117
2.1 材料係数 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
2.2 部材係数 ·····	
2.3 荷重係数 ·····	
2.4 構造解析係数 ······	
2.5 構造物係数 ·····	
2.6 耐震設計における安全係数の取り扱い	
2.7 修正係数 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
	100
3. 荷 重	123
3.1 設計荷重の種類と特性値の算定 ····································	
3.2 設計荷重の組合せ	
Parting III All III	1-1
4. 材料の設計値 ····································	126
4.1 材料の強度 ····································	
4.2 応力ーひずみ曲線 ····································	
4. / M N / I U Y 4 / N TTI MYK	1.30
4.3 ヤング係数 ····································	

4.4 その他の材料の設計値	131
5. 応答値の算定	132
5.1 算定の基本 ····································	
5.2 応答値の算定方法 ····································	
6. 限界値の算定と照査 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
6.1 終局限界状態に関する検討	
6.1.1 終局限界状態の検討の一般事項 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
6.1.2 コンクリート系セグメントの照査 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
6.1.3 鉄鋼製セグメントの照査	
6.2 使用限界状態に関する検討	
6.2.1 使用限界状態の検討の一般事項 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
6.2.2 コンクリート系セグメントの照査 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
6.2.3 鉄鋼製セグメントの照査	
6.2.4 ひび割れ幅の照査	
6.2.5 セグメントリングの変形の検討	
6.2.6 継手部の変形の検討 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	172
第Ⅲ編 設計細目	
1. 主断面および継手の配置	175
1.1 鉄鋼製セグメント ····································	
1.2 コンクリート系セグメント ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	176
2. 縦 リ ブ	178
3. シール溝およびコーキング溝 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	179
3.1 シール溝	179
3.2 コーキング溝	179
4. 注入孔および吊手 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1.21
4.1 注入孔	
4.2 吊 手	
4. 2 1 j	102
5. 継手角度および挿入角度	183
	185
6. テーパーリング	
6. テーパーリング6.1 テーパーリングの種類	185
6.1 テーパーリングの種類	
	185
6.1 テーパーリングの種類	185 185
6.1 テーパーリングの種類 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	185 185 187
6.1 テーパーリングの種類 6.2 テーパーリングの使用量 6.3 テーパーリングのテーパー量 7. 鉄筋一般 7.1 鉄筋のかぶりとあき	185 185 187 187
6.1 テーパーリングの種類 6.2 テーパーリングの使用量 6.3 テーパーリングのテーパー量 7. 鉄筋一般 7.1 鉄筋のかぶりとあき 7.2 鉄筋の加工,継手と定着	185 185 187 187
6.1 テーパーリングの種類 6.2 テーパーリングの使用量 6.3 テーパーリングのテーパー量 7. 鉄筋一般 7.1 鉄筋のかぶりとあき	185 185 187 187 187 188

8.1 溶 接 …				• 190
		第IV編	設計計算例	
1.2 設計計算例に関	9 公任息事項はこ			. 199
3.1.3 終局限界状	態の照査 ・・・・・・・			• 235
3.2.2 使用限界状	態の照査 ・・・・・・・			· 249
3.3.3 政司凶(//)[-	-д <u>х</u>			. 291
		第V編	参考資料	
1 歴砕わわがソント				. 202
1.3 各種施工条件へ	の対応			• 313
2. 継手の種類と分類				• 317
3. 土圧・水圧の設定係	ที]			. 320

3.2 土圧・水圧の設定方法例	321
4. テルツァーギの緩み土圧の応用式	322
5. 路面交通荷重による上載荷重の設定例	323
6. 大深度地下トンネルにおける上載荷重の設定例	325
7. 鉄道構造物における地盤反力係数の設定例 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	327
8. セグメントの自重による変形に対する地盤反力係数の設定例	328
9. 施工時荷重に対する検討方法の例 9.1 施工時荷重に対する検討の現状 9.2 トンネル縦断方向の曲線施工時の検討に用いるジャッキ推力とジャッキパターンによる影響の例・ 9.3 幅広化等に伴うセグメントのラッパ組に関する検討方法の例・ 9.4 裏込め注入圧に対する検討方法の例・ 9.5 エレクターの操作荷重の例・ 9.6 コンクリート系セグメントのシール材の圧縮反力に対する検討方法の例・	331 331 331 332 333 335 336
10.『下水道仮設設計マニュアル』の開口部の設計法の概要 10.1 開口部の影響 10.2 開口部の設計に考慮する荷重	337 337 338
1 1. 高強度鋼材の許容応力度(案) 11.1 『トンネル標準示方書』に示される局部座屈に対する許容応力度の解説 11.2 高強度鋼材の許容応力度(案)	340 340 342
12. セグメント継手の回転ばね定数 12.1 概要 12.2 実験により算出する方法 12.3 理論的,解析的に算出する方法 12.3.1 村上一小泉の方法 12.3.2 『鉄道設計標準』の方法 12.3.3 レオンハルト (Leonhardt) の式	343 343 345 346 353
13. リング継手のせん断ばね定数 13.1 概要 13.2 『鉄道設計標準』の方法	356
14. 継手のばね定数の設定例 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	357
15. シールドトンネル縦断方向の回転ばね定数 15.1 志波らの提案をもとにした方法 15.2 西野の提案による方法 15.3 理論的な算定方法の留意点	361 362

	/ールドトンネル縦断方向の等価曲げ剛性の誘導 ······ 縦断方向の等価曲げ剛性誘導 ····································	
	シールドトンネル縦断方向の応力度および継手の引張力算定式の誘導 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
10. 2	シールトトンイル税例の同の心力及ねよの秘子の引張力昇足式の誘导・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	309
17. 5	テーパーリングのテーパー量の算定方法 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	370
18. 🖟	艮界状態設計法に関する参考資料 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	372
18. 1	ダクタイルセグメントの材料特性および局部座屈について	372
18. 2	鉄鋼製セグメントの終局限界状態の照査 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
18.3	使用限界状態の照査・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	381
19. 3	/一ル材 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	385
19. 1	シール材の歴史・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	385
19. 2	シール材の種類	386
19.3	止水のメカニズム ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	387
19.4	シール材、シール溝と止水性能について ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	388
19.5	シール材の設計法	388
19.6	シール材の耐久性の検討例	392
19.7	シール材の設計例	394
20. 🛭	方食および防せい,ボルトボックス充填工,コーキング工およびボルトパッキン ·····	398
20. 1	鋼製セグメントの塗装仕様の例 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	398
20.2	継手部材の防食処理の例・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	398
20.3	注入孔・吊手金具の防食対策の事例 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	400
20.4	ボルトボックス充填工の例 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	401
20.5	コーキング工	402
20.6	ボルトパッキン・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	403
参考了	て献	404